

参考資料

令和2年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
会 計 管 理 者

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	令和2年度	令和元年度	伸び率
予算総額	1,001,720千円	1,021,920千円	△2.0%
一般会計構成比	0.1%	0.1%	—

【証紙特別会計】

予算総額	15,445,982千円	17,691,154千円	△12.7%
------	--------------	--------------	--------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 県庁の更なるスマート化

(1) 県民サービスの向上

P 1 公金収納のキャッシュレス化の推進【出納総務課】 777

(2) 県庁の業務効率化

P 2 庁内向け財務相談業務へのA Iの活用【出納総務課】 1,232

公金収納のキャッシュレス化の推進

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5730

1 目的

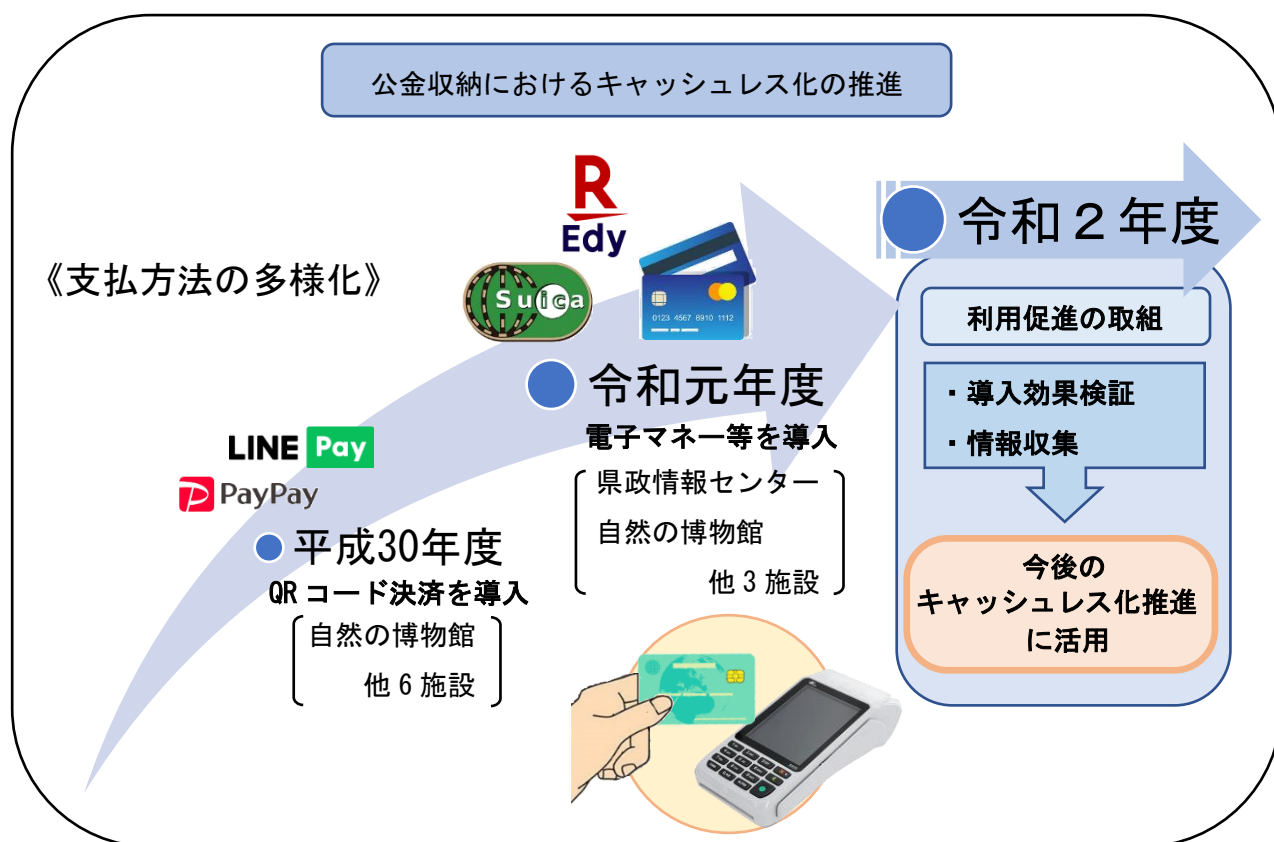
本県の公金収納のキャッシュレス化を進め、県民の利便性の向上を図る。

2 事業内容

公金収納キャッシュレス化推進事業

令和元年度までに県政情報センター等で、交通系電子マネー（Suica、PASMO）等による公金収納を開始した。令和2年度においては、事業効果を検証しつつ、県民の利便性の向上等のため、引き続き公金収納のキャッシュレス化を推進していく。

3 予算額 777千円



庁内向け財務相談業務へのA I の活用

担当 出納総務課 財務会計制度担当
内線 5 7 6 0

1 目的

庁内向けの財務相談業務にA I（人工知能）を活用することで、業務の効率化を図る。

2 事業内容

財務相談業務A I 活用事業

職員からの問合せに自動応答するシステム「ヘルプデスクA I」における財務相談に対する回答の精度向上を図る。

3 予算額 1, 2 3 2 千円

<財務相談業務へのA I 活用のイメージ>

